

【※募集終了（令和3年5月）】

【附属札幌中学校】

地域との出会い・共生を生む
学びの環境創り事業

(総事業費：1,000万円)

寄附目標額：100万円

※ご支援頂いた寄附金は、「事業計画」に基づく事業など、キャンパス、附属学校園の「修学環境等を整備する事業」の実施に活用します。



事業代表者
札幌校キャンパス長
田口 哲

事業計画に関するお問い合わせ

北海道教育大学附属札幌中学校
<http://www.hue-fsj.ed.jp/>
〒002-8075 札幌市北区あいの里5条3丁目1番11号

電話: 011-778-0482
FAX: 011-778-0483
E-mail: s_fuchu@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学基金



子どもたちと
地域の方が出会う場所。

※本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の状況から、募集期間を延長しています。(R2.5.27)

環境の「再生」と出会いの場の「創造」そして皆様の「共感」
をテーマに、温もりのある魅力的な学校に！

皆様の【共感】が、
キャンパスを再生します。

キャンパスの再生と創造への「共感」。

【附属札幌中学校】地域との出会い・共生を生む学びの環境創り事業

「人・自然との融和」=子どもの健やかな成長を地域と共有する、開かれた学校の実現へ

「木目」による付加価値

本校は「あいの里」の豊かな自然の中で地域と共に学び、地方創生を自分ごととして捉えることで、子どもたちを未来の担い手となる大人へ育むことを大切にしています。そのためには地域の方々との出会いや、学びを共有する場である「教室」を、より自然を感じる場とし、子どもたちが健やかに成長するために必要となる環境を創る事業を行います。



附属札幌中学校校舎（昭和62年築）
鉄骨造4階建 延べ床面積5,320㎡
【概要】附属札幌中学校は玄関の吹き抜けが特徴的な建物であり、レンガタイルのアプローチは憩いの場となっています。



附属札幌中学校は、これまでもあいの里の地域の発展と共に歩んできました。これからは地域のモデル校として「子どものいる研修センター」としての役割がより強く求められます。教育研究大会や授業セミナーを通して、教育行政も含めた地域の教育界との共生を進めていきます。そのために、地域の皆様との出会いと交流の場である教室環境を改善します。教室床・壁の木目調化と、A4規格ロッカーへ更新することで、子どもたちの健全な成長と合わせて、地域の皆様との共生を実現することができる、魅力的なキャンパスを目指します。
(札幌校キャンパス長 田口 哲)



学習用具の一部を学校に置いていけるようになったので、以前よりカバンが軽くなりました。私は通学に1時間以上かかるので、負担が少なくなってとても嬉しいです。現在共用している棚よりも大きくて扉のある個人ロッカーがあれば、生徒一人一人が自己管理もしっかりできるようになると思います！（2年生生徒 石井 里実）



教室は、子どもたちにとって地域の方と出会い、様々な活動を通して学びを深める場でもあります。環境が人を育てるとも言われています。保護者としても、少しでも豊かな自然を感じることができる環境の中で、子どもたちが学び合い、伸び伸びと育ててほしいと願ってやみません。
(PTA会長 服部 直毅)

事業費

①木目調フロア化	550万円
②A4ロッカー整備	230万円
③移動ウォール整備	220万円
総事業費	1,000万円

予算

寄附金	100万円
学内予算	900万円
合計	1,000万円

現状、問題・課題点



汚れと傷みが激しい床

学舎はタイル張りの外壁や光庭からの自然光を取り入れるなどモダンな設計です。しかし、経年劣化によって教室の床や移動壁の傷みが激しく、下地が露出している部分も散見されます。また、通学時の学習道具軽量化の取組は、子どもたちの負担軽減はもちろんのこと、各自が責任をもって学習用具の管理ができる環境を整える意味からも大切です。



無機質で移動が渋い壁

事業イメージ、事業による成果

「木目」がもたらす効果を学びにつなげる

木目模様はリラックス効果や和んだ空間を演出してくれると共に、その美しさからは、温もりも感じられます。子どもたちが日々学び地域の皆様と出会う場所を「人・自然との融和」というコンセプトで整備します。
子どもたちは、心が開かれる環境の中でこそ、伸び伸びと健やかに成長することができます。保護者・地域社会・地域教育界・大学はもちろん、地域教育行政とも有機的につながり、子どもの学びの姿を中心に相互に機能していく「学びの共創体」としての学校づくりを進めます。

【状況等】

寄附の目標額を達成しました。

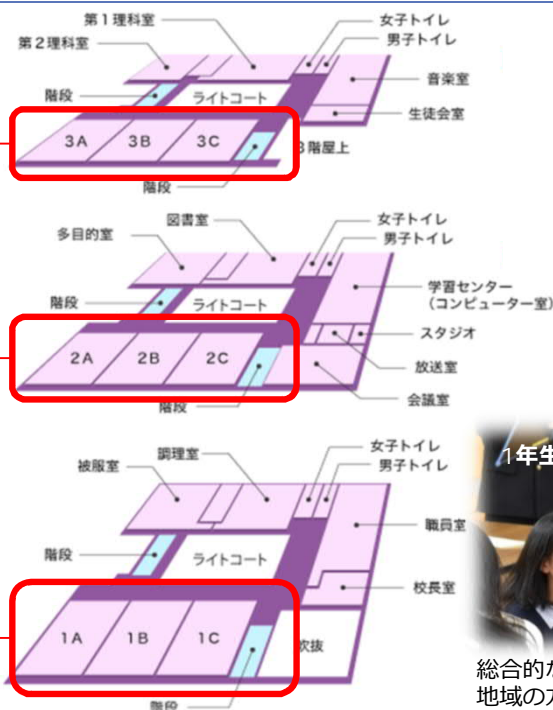
本事業へのたくさんのご支援・ご協力をいただきありがとうございます。本事業は昨年度当初に公募案内いたしました但新型コロナウイルスの関係で公募期間を本年5月まで延長し、この度当初の目標額を達成することができました。心よりお礼申し上げます。今後、公募期間の終了を待って改修工事手続きに着手する予定となります。工事が完了の際は、改めて皆様にご報告いたします。

令和3年5月6日
札幌校キャンパス長 田口 哲

キャンパスの再生と創造への「共感」。

【附属札幌中学校】地域との出会い・共生を生む学びの環境創り事業

附属札幌中学校校舎平面図



学校祭作業製品販売の様子

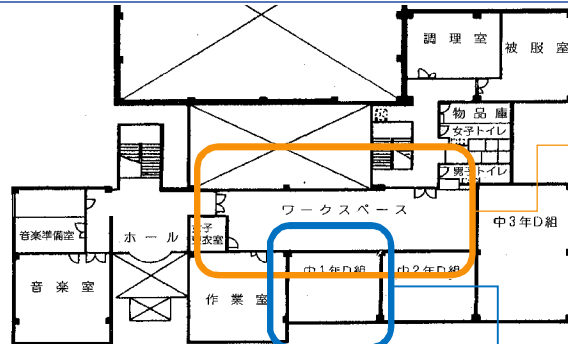
特別支援学級の作業製品の販売。地域の方との交流は、働く意義と出会う場となります。



1年生交流会の様子

総合的な学習の時間の交流会。地域の方からのアドバイスは、大人の視点と出会う場となります。

ふじのめ学級校舎平面図



あいの里の地域との共生
～地域の方との出会いを大切に～

北海道の地域教育界との共生



教育研究大会の様子

教育研究大会や各種授業セミナーの開催は、地域の教育界と出会う場となります。子どものいる研修センターとして、大学・教育行政とも連携しながら、教員研修の視点を大切に、地域に開かれた学校へ。

③木目調移動式ウォール整備

スペースを区切った状態で活用

フレキシブルに活用できる木目調の移動式ウォール

After

オープンなスペースとして活用

After

①木目調フロア化+②A4規格ロッカー整備

無機質なPタイルの床

Before

After

木目調フロアによって安らぎの空間を創出

B5規格の、扉のない棚

Before

After

A4規格の個人ロッカーによって子どもたちの教育環境を向上

- 木目はリラックス効果と和んだ空間を演出してくれます。子どもたちにとって大切な環境である教室も、子どもたちと共に成長してほしい。
- そんな環境の中で、キャリアワークショップや学校公開などを通じて地域の方と出会う機会を創出してほしい。
- 「子どものいる研修センター」として、教育研究大会や各種授業セミナーを通して、地域の教育関係の方と出会う機会を創出してほしい。

未来を担う子どもたちと地域の方の出会いを、かけがえのないものにするための環境を整えたいという願いを込めました。

環境の「再生」・出会う場の「創造」・皆様の「共感」を本事業のテーマとして、温もりのある魅力的な学校づくりを進めます。

キャンパスの再生と創造への「共感」。